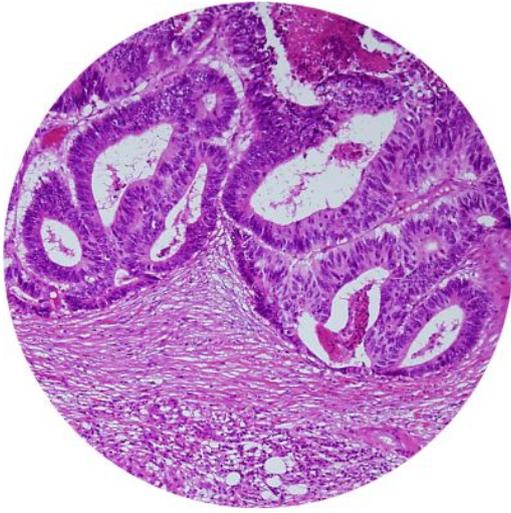
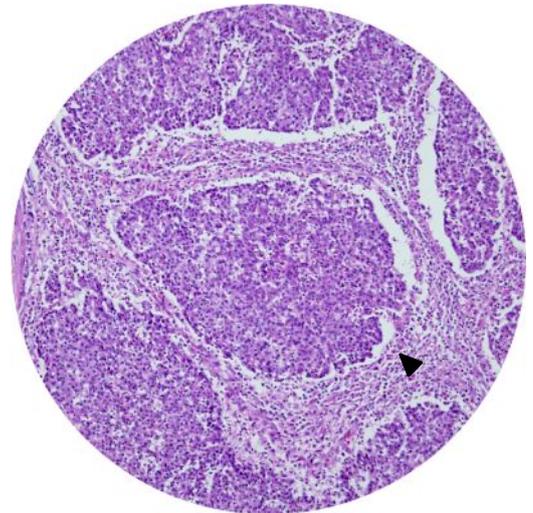


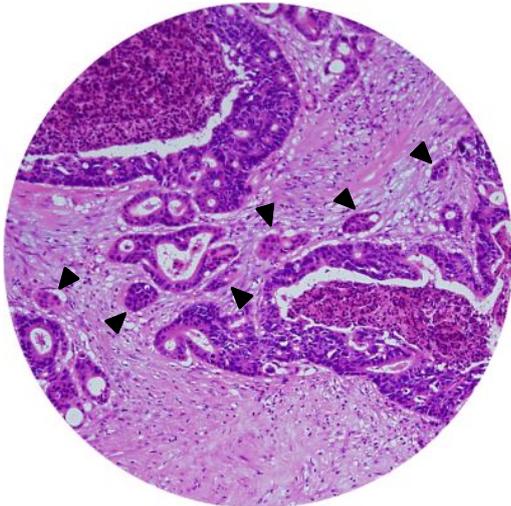
対物20倍視野における「低分化胞巣」の観察例



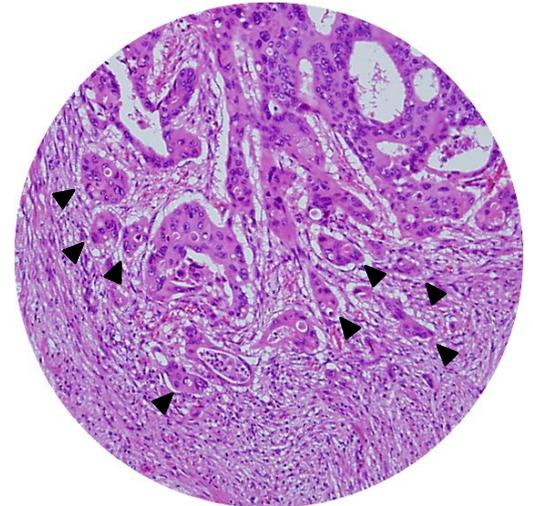
Case 1. 「低分化胞巣」を認めない (grade 1)



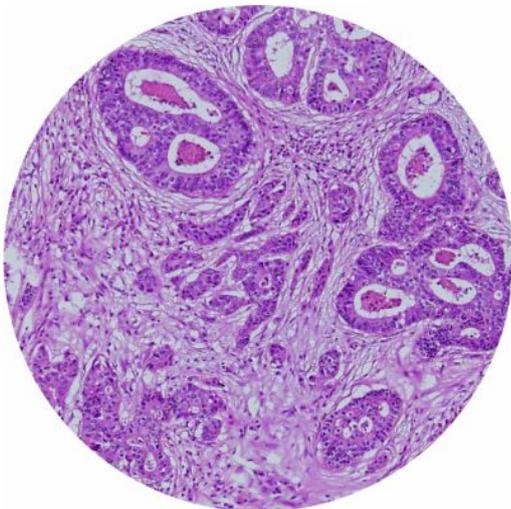
Case 2. 大型の「低分化胞巣」を1個認める (grade 1)。
「低分化胞巣」数のカウントは、病巣全体が対物20倍視野内に含まれる病巣を対象としておこなう。また、「低分化胞巣」の判定に胞巣径は考慮しない。



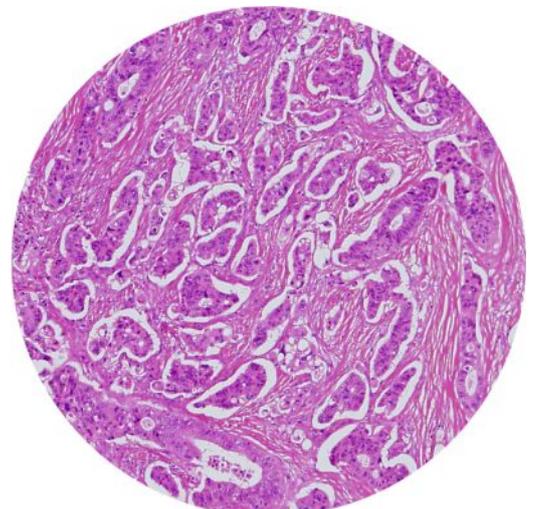
Case 3. 癌腺管間の腫瘍間質に、6個の「低分化胞巣」を認める (grade 2)



Case 4. 癌先進部の領域に、8個の「低分化胞巣」を認める (grade 2)



Case 5. 10個以上の「低分化胞巣」を認める (grade 3)



Case 6. “invasive micropapillary”と表現されることもあるが、周囲に空隙を伴う「低分化胞巣」を多数認める (grade 3)。いずれかの癌胞巣がリンパ管内に存在する可能性もあるが、「低分化胞巣」の判定に際して脈管の内・外は考慮しない。